

剰余金処分案

項目 区分	繰越不足金 円	当期剰余金 円	未処分剰余金 円
農作物共済勘定	0	0	0
果樹共済勘定	0	896,925	896,925
畑作物共済勘定	0	0	0
園芸施設共済勘定	0	32,706,829	32,706,829
任意共済勘定	0	184,335,413	184,335,413
農機具更新共済勘定	0	483,013	483,013
家畜診療所勘定	0	0	0

上記未処分剰余金を下記のとおり処分する。

1. 果樹共済勘定

項目 区分	法定積立金		特別積立金		摘 要
	当期 円	累計 円	当期 円	累計 円	
果樹共済勘定	448,463	20,500,318	448,462	21,728,033	

2. 園芸施設共済勘定

項目 区分	法定積立金		特別積立金		摘 要
	当期 円	累計 円	当期 円	累計 円	
園芸施設共済勘定	16,353,415	177,365,426	16,353,414	148,101,322	

3. 任意共済勘定及び農機具更新共済勘定

項目 区分	法定積立金		特別積立金		摘要
	当期 円	累計 円	当期 円	累計 円	
任意共済勘定	92,167,707	5,636,399,735	92,167,706	1,660,314,245	
農機具更新共済勘定	241,507	19,541,278	241,506	10,742,633	

不足金処理案

項目 区分	繰越不足金 円	当期不足金 円	未処理不足金 円
家畜共済勘定	591,006,288	927,250	591,933,538
家畜診療所勘定	0	26,921,788	26,921,788

【家畜共済勘定について】

収入について、前年度に比較し引受頭数の減少と評価額の低下により、共済掛金は死亡廃用共済で期末調整の過年度掛金と合わせ 3,882 万円減少し、疾病傷害共済で 1,990 万円減少した。合計で共済掛金は 5,873 万円減少した。支出について、前年度に比較し死亡廃用共済は豚舎火災により豚の事故頭数が大きく増加したが、牛の事故頭数が大きく減少したこと、評価額及び補償割合が低下したことで、支払共済金は期末調整の過年度共済金と合わせ 1 億 151 万円減少した。疾病傷害共済は乳用牛の事故の増加があったものの、肉用牛の事故が減少し、支払共済金は 1,063 万円減少した。合計で支払共済金は 1 億 1,215 万円減少した。

以上より、収入計 14 億 9,456 万円に対し、支出計 14 億 9,548 万円で、前年度に比較し収支は大きく改善し、当期不足金は 93 万円であった。

【家畜診療所勘定について】

収入について、前年度に比較し事故減少により病傷事故診療収入が 2,355 万円減少し、合計で 2,625 万円減少した。支出について、前年度に比較し嘱託獣医師数の増加により嘱託獣医師費が 1,410 万円増加、公課費の上昇により診療所維持費が 655 万円増加し、合計で 2,611 万円増加した。

以上より、収入計 6 億 1,116 万円に対し、支出計 6 億 3,808 万円で、当期不足金は 2,692 万円であった。

上記未処理不足金を下記のとおり処理する。

1. 家畜共済勘定

項目 区分	法定積立金による補てん 円	特別積立金による補てん 円	繰越剰余金による補てん 円	繰越不足金 円
家畜共済勘定	0	0		591,933,538

2. 家畜診療所勘定

項目 区分	法定積立金による補てん 円	特別積立金による補てん 円	繰越剰余金による補てん 円	繰越剰余金 円
家畜診療所勘定			26,921,788	389,049,242

剰余金処分(不足金処理)後積立額

項目 区分	法定積立金 円	特別積立金 円	計 円	摘 要
農作物共済勘定	285,948,605	1,009,812,291	1,295,760,896	
家畜共済勘定	0	0	0	
果樹共済勘定	20,500,318	21,728,033	42,228,351	
畑作物共済勘定	46,758,188	58,515,238	105,273,426	
園芸施設共済勘定	177,365,426	148,101,322	325,466,748	
任意共済勘定	5,636,399,735	1,660,314,245	7,296,713,980	
農機具更新共済勘定	19,541,278	10,742,633	30,283,911	
家畜診療所勘定			389,049,242	
合 計	6,186,513,550	2,909,213,762	9,484,776,554	